



・会長 菊田 利昭 幹事 熊澤 功
 ・例会日 毎週金曜日 12:30
 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田 2570-3 尾張旭市商工会館内
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 ・E-mail: jimuwariasahi-rc.org URL: http://www.owariasahi-rc.org



イマジン
ロータリー

2022-23 年度

IRテーマ イマジンロータリー

地区方針 未来を描こう、笑顔でつなごう

～一人一人のチャレンジを力に！変化に対応できるクラブを目指して～

本日の例会プログラム 2022年11月4日（第2443回） No. 2323

点鐘 12:30 卓話担当者 仲澤 昌容君
 斉唱 君が代・奉仕の理想 卓話者 愛知県議会議員 青山 省三様
 演 題 「愛知県行政と寄り添った奉仕活動をするための勉強会」

前回の例会記録 2022年10月28日（第2442回）

○斉唱：我らの生業
 ○ゲスト：2022 年度米山記念奨学生
 ダバーサンバ・ゾルサルさん
 ○来訪者：尼崎東ロータリークラブ 平野 高太郎君
 尼崎東ロータリークラブ 西村 嗣人君
 ○出席者：会員 20 名中 14 名出席 出席率 70.00%

会長挨拶 菊田 利昭



ゲストはダバーサンバ・ゾルサルさん、ソラさんです。来訪者は、尼崎東ロータリークラブの平野高太郎君、同じく尼崎ロータリークラブの西村嗣人君です。お2人は私の友人で、私の会長就任を祝って来訪してくれました。平野君は大学に入って最初に出来た友人で、それ以来40年近く親しくさせていただいています。現在は家賃保証会社を営まれています。西村君は、私と同期（といっても年齢は私より10歳くらい若いですが）の弁護士で、現在一緒に平野君の会社の顧問弁護士をしています。とても仲良くさせていただいています。

こうやって他クラブの方をお招きするのも親睦のひとつです。奉仕と親睦はロータリークラブの両輪だとよく言われますが、「ロータリーの基礎」には、親睦とは、クラブとして存続していく上で欠かすことの出来ない必要条件となる、ロータリアン個人個人の心が結合した状態を表す概念だとあります。また、ロータリー運動の実体を言い表した言葉として「入りて学び、出でて奉仕せよ」というものがあります。聞いたことはあったのですが、その意味はよく知りませんでした。これは、世の中のあらゆる有用な職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、一週一回の例会に集い、例会の場で、職業上の発想の交換を通じて、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を図り、その結果として奉仕の心が育まれてくる、そして、例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、奉仕活動を実践する、といった意味だそうで、理想とされるロータリーライフを表しています。そして、この例会における一連の活動のことを「親睦」と呼ぶのだそうです。

わがクラブは、人数は少ないですが、ロータリアン個人個人の心が結合している、本当の意味で

ロータリー財団月間

例	11月13日(日)	11月18日(金)	11月25日(金)	12月2日(金)
会	(11日振替)	卓話担当者：舟橋 龍秀君 卓話者：" 演題：「精神鑑定について」	休会	卓話担当者：加藤 清久君 卓話者：" 演題：「経済雑話」
予	地区大会 於：愛知県国際展示場 点鐘：13:00		定款による休会	
定				

10月21日（金）卓話



「コロナ禍における医療の現況について」
金森 俊輔

令和元年末に中国・武漢で発生した新型コロナウイルス感染症は、令和2年1月にダイヤモンド・プリンセス号でクラスターが発生、全国、全世界に急速に拡大しました。当時、感染者を受け入れた藤田医科大学、岡崎医療センターに、先日菅前首相が訪問されたことが報道されました。また尾張旭ロータリークラブでは同年2月のIMを主催する事はできましたが、例会や春の家族旅行等が次々中止になりました。瀬戸旭医師会でも理事会や全員協議会がリモートあるいは文書による報告に変更され、新年会や視察旅行は全て中止になりました。学校や保育園の健診も延期され、小児科の患者数は激減し経営危機かと心配していましたが、国や自治体からの補助金や、乳幼児の定期予防接種に來られる患者さんは減少しなかったのが、乗り切ることができました。

感染予防体制として、当院では診察室、処置室に感染防御用パーテーションを設置し、その中で診察、コロナの検査を行っていましたが、現在は駐車場へ看護師とともに赴き、鼻咽頭の検査を施行しています。瀬戸旭休日急病診療所でも、別棟としてユニットハウスを設置し、新型コロナウイルス感染症の疑われる患者さんの待合室、検査室として活用することになりました。現在では患者さんの著増に伴い、当院と同じように駐車場で検査を行っています。感染が急拡大した令和2年は、がん検診受診者数の減少、旭労災病院、公立陶生病院など基幹病院では流行時に重症者の入院が増加し、一般患者さんの診療も含め、医療の逼迫状態が長く続きました。オミクロン以降は軽症化傾向にあります。

公立陶生病院・武藤先生ほかの専門家による講演会等で情報収集を行って来ましたが、膨大な情報が氾濫し、感染対策の方法、補助金の仕組み等、良く理解できない部分もありました。鳥井医師会前会長が、感染勃発後今年5月まで、“新型コロナウイルスの情報提供について”を約200報配信、本年5月に新会長に就任した私は、せとあさひ通信（週刊）を作成、重要新聞記事、愛医（愛知県医師会）通信抜粋等、A4サイズ2-3枚程度にまとめて会員に配信しています。

今年2月の第6波、7-8月の第7波では、瀬戸旭休日急病診療所の患者数が1日200名前後に一挙に増加し、時に20-21時まで診療を行い、事務職員がHER-SYS等の書類作成に深夜まで従事していました。当院でも1日のコロナ患者が20-30人になることもあり、発熱外来として午前・午後1-1.5時間ずつの時間枠を設け、防護服を着用の上、3人ずつ駐車場で検体採取し、陽性者は電話対応とし、薬剤師さんが処方薬を届け、陰性者は診察室に呼び入れ、診療を行いました。小児の鼻咽頭ぬぐい液採取は、かなり苦痛を伴い患児に嫌われることもしばしばです。

コロナ流行後、当地区の医療関係者の奮闘ぶりには自院の職員も含め頭が下がる思いです。この場を借りて感謝の意を表明したい。

の親睦が図られている良いクラブだと思っています。この親睦を深めていくことにより、クラブのメンバー間の結束が強くなり、他の人からも羨ましがられる関係性が築けるので、増強にもつながっていくと思います。親睦会やゴルフ会は親睦活動であって親睦とは次元の異なるものだと思いますが、親睦活動によって親睦を深めていくことはできます。来月にはロータリーロマンにふれあう会が、12月には年忘れ家族会が企画されています。たくさんの方に参加していただき、より親睦を深めていきたいと考えています。

幹事報告

- ・10/23(日) 会長エレクト研修 於ウインク愛知 加藤会長エレクト 出席
 - ・10/27(木) 第2回地区職業奉仕委員長会 於名古屋会議室 山田奉仕プロジェクト委員長 出席
- 次回会合：11/4(金) 第9回理事役員会 於第1会議室 13:40~

ニコボックス

- 菊田会長の応援に参りました。会長の時間楽しみです。 尼崎東 RC 平野 高太郎君
- 菊田会長のスピーチを楽しみに遠路はるばる来ました。楽しみにしております。 尼崎東 RC 西村 嗣人君
- 尼崎東 RC の平野高太郎君、西村嗣人君、ようこそいらっしゃいました。歓迎致します。 菊田 利昭君、桜井 雅博君、舟橋 龍秀君 山田 直樹君
- ソラさん、卓話を楽しみにしています。 菊田 利昭君、熊澤 功君、加藤 知徳君 舟橋 龍秀君、箕輪 良孝君、森 友子さん
- 菊田会長、尾張旭市民ゴルフ大会5位入賞おめでとうございます。 桜井 雅博君

米山記念奨学生奨学金授与



2022 年度米山記念奨学生
ダバーサンバ・ゾルサルさん

来訪者



尼崎東 RC 平野 高太郎君 尼崎東 RC 西村 嗣人君

卓話



「自己紹介」
ダバーサンバ・ゾルサル

※次週掲載致します。